高齢者大学文芸部　5月歌会

枯れ果てし鉢と思ひて重ねしを季節忘れず百合の芽覗く　川口　敦子
花冷えの荒れたる庭の日だまりに黄色の水仙群咲きてをり　荒木　幸
城山の桜並木は花満ちて友と連れ立ち仰ぎつつゆく　宮本サチ子
馬酔木の花白きがままに散る庭の昏れなずみつつ深く鎮もる　岡本　トシ
丸き背に鶏の餌運ぶわれを真似曾孫よたよた腰曲げつき来　山下　菊代
桜の下今日のご縁を温めて相良観音石段のぼる　岩木タエ子
荒畑はピイピイ草に踊子草蝶も舞ひゐて春は酣　氏岡　百枝
百歳の峠を登る百枝さん自作自演の踊りしなやか　今坂　文子
桜木の青葉の続く城山を登れば吾も青く染まりぬ　雲田　郁子
後期高齢者などとふ名称いただきていささか戸惑ふ九十半ばを　梅野カヲル

万句の里俳句会　4月句会

天も地も恍惚として花の中　丸山美代子
死ぬ事も明るく話す花莚　打出　貞
しづ心育ちゆくもの花の下　隈部　輝子
山里や極楽浄土百千鳥　田島　房子
賑やかな声往き来してつばくらめ　加藤　妙子
惜しまれつ相好崩し牡丹かな　北村　妙子
夜もすがら潮騒の音東風強し　平山　邦子
石人の顔も和めるつつじ園　宮本　雅子
威勢よく烏賊釣船の帰りきし　林　まつ子
香煙の絶ゆることなし花の寺　冨田　幸子
古里や母の命日木の芽和へ　茨木　幸子
一佳信春愁いつか消されけり　松永　久子

肥後狂句桜会　例会入選句集より

せからっさ　ヘルパー入れにゃ身が持たん　須藤　新生
委員会　本会議より面白エ　小川　繁美
温暖化　考えよっと寒うなる　光堀　善教
隣り部屋　動物園で寝たごたる　狩野　本六
温暖化　阿蘇まで海にゃならんどう　東　哲哉
せからっさ　娑婆のテンポの早過ぎる　藤由　藤紫
分からず屋　子供のまんま太っとる　田中　孝幸
サスペンス　家族もいつか探偵家　高木　房惠
分からず屋　合食ちゅうち食わん母　窪田　明徳
委員会　行政よりの顔ばかり　米岡　末房
分からず屋　ハイて言う道知らっさん　田尻　浩風
せからっさ　孫は三日で帰したつ　藤野　清子

泗水短歌会　4月詠草

影見えず雲雀の声のいとまなし野焼きの土手も芽吹き始める　大島　きと
ポケットに両手預けて花仰ぐ亡夫を置きたり落花の庭に　吉安　永子
五十年の蘇鉄一本庭の主酷寒酷暑も厭はず枯れず　福原美智子
奥津城の桜満開三十本先祖祭にいよよ華やぐ　内田つね代
六十余年今なお水面に浮かびくるアリゾナ号の油かはたまた　高藤タツノ
青空に映えて桜は咲き満てり木下に仰げば母のまぼろし　中山　定子
子や孫と薩摩路の旅幾年振り何度訪いても知覧に涙す　長尾はるみ
在りし日に夫とドライブせし鞍岳に今年も馬酔木の鈴ふる頃か　平嶋きくえ
出水のつる飛翔の姿遠く見て風光明媚な桜島へと　宮本　峯子

せせらぎ俳句会　4月例会

山々を揺り起こしけり春一番　五丁　義昭
山鳩の声に目覚めし床の中　服部　静子
春の月汀女の名句称えもし　坂本まつえ
庭藤の白目に残し入院す　藤本　邦浩
雨の窓花の別れを惜しみもし　村山　数恵
今朝の夢エイプリルフールであれかしと　藤本アツ子
たんぽゝの絮毛気儘な旅に出る　寺本　和子
新牛蒡刻む香りの満つ厨　内村　泊虹
緑一色桜並木も遅れじと　（中三）渡辺大寿
日ざし受け田圃の上を翔ぶつばめ　（中三）渡辺一史

肥後狂句水笑会　4月例会

見てみたか　宇宙基地からふる里ば　続　義昭
見てみたか　いくら包ましたつだろか　井手　水光
一安心　媽の決裁取り付けた　神尾　凡骨
ぜいたくな　洗濯しなしうしてらす　御手洗三代
こすたくりん　寄付取り行くとはってかす　清原　英坊
見てみたか　女心の奥底を　吉岡　三水
見てみたか　生きとる内に嫁らんね　中島　五女
見てみたか　ひ孫の結婚する姿　宮上　美由
一安心　どぐら息子に嫁もろて　平井　江彩
一安心　媽もよか顔しとる朝　柏原　乗仏
ぜいたくな　回らん寿司がええて言う　山隈　好茶

七城短歌会　4月詠草

失明の世を怖がりて医師の指示素直に受けとめ目薬を差す　佐々　重弘
奥津城に手合わせ祈る折も折り鶯ことさら寄り来て啼くも　水田紗陽子
菜の花と桜が咲き満つ堤防を友と賞でつつ漫ろに歩む　緒方　寛
遠く住む嫁に送ると裏山で摘みたる蕨仕上ぐと灰汁抜く　下川　つぎ
人間よりも強かなりやコンクリの庭割り蓬顔のぞかする　岩崎　照代
残したき枝と思へど雨毎の通せんぼうに鋏をとりぬ　村上　幾雄
朝日受く浅瀬をはやみ踊る波キラキラ眩し足とどめたり　吉間　充子
春嵐去りたる庭の吹きだまり掬えるまでの桜花びら　高木　精
庭に春さそう雪柳連なれる白き小花がゆるるか揺れる　岩津　涼子
薬師堂の桜満開その下に佇ちて暫くうらうらと居り　松岡ミチエ

旭志文芸俳句会　4月詠草

はからずも露天風呂待つ春の月　芹川　蓉子
鞍岳下風全身に受け春耕す　水谷　ミネ
沈丁花の香に誘われて友を訪う　東　芳子
大役を終へたる今日や春うらら　中尾ヨシコ
雑木山の芽吹き明るし微風あり　芹川のり子
花吹雪先祖祭り皆集ふ　出田みどり